

佐徵水第二八八六七號	與	佐徵水第三二一六三號	山脇
佐志水第二八二六五號	澤田	佐志水第二四一〇四號	谷脇
佐徵水第二九二八一號	庄島	佐徵水第三五三五〇號	齋藤
佐志水第二七五四九號	松藤	佐志水第二五七四六號	森本
佐志水第五六二三〇號	兼松	佐志水第四二二一六號	仲樹
佐志水第三〇四〇二號	市川	佐徵水第三五九八四號	辰巳
佐志水第五五二六七號	中尾	佐徵水第三六〇七七號	大西
佐志水第五一九八六號	古田	佐志水第五五一五三號	坂田
佐徵水第四二一一九號	西川	佐志水第三七八六四號	赤松
佐志水第三九二〇三號	中會樓	佐志水第四〇二九四號	高山
佐志水第六六三二八號	山田	佐徵水第四二三五七號	

（隱信隠陸 本電二分二未着）

松田（竹内）

海軍

590

新至
急展

受信
開始
〇七〇〇

譯了
一二〇〇

電
〇四三五五

人
事

東通・横通・吳通・佐通・舞通

第二十一根

機密第〇七一九四五番電 二分ノ二

- 石原 (佐志機第三七[?]一四〇號) 平 (佐[?]徵機第三〇〇七六號)
- 藤田 (佐志水第四六四二四號) 西山 (佐志水第四九九七〇號)
- 定金 (佐志水第四六八九七號) 新倉 (佐志水第四七八八六號)
- 芳井 (佐志水第四六四一三號) 池田 (佐徵水第五一〇八八號)
- 瀬野 (佐徵水第五二二九一號) 小原 (佐徵水第五〇一九三號)
- 小松屋松 (佐志機第一二一八二號) 眞壹 (佐志機第二四一九六號)
- 山下 (佐志機第二八四七四號) 中村 (佐志機第一四四五四號)
- 原 (佐徵機第三九八〇二號) 矢田 (佐徵機第二八〇三五號)

通四六八七

仁D (一五三六七五四) 二一通

松田 (竹内)

海軍

第電
十信
課

山野 (佐一補水第九七四八號) 原田 (佐一補水第一〇一九四號)

泉田 (佐一補水第四五〇一號) 三浦 (佐一補水第一〇三一五號)

占部 (佐一補水第四一三六號) 赤木 (佐二補水第二四八號)

河野 (佐國水第六二九七號) 計四六名

(横 鎮)

小林 (横志水第二〇一二三號) 種谷 (横志水第八四六二〇號)

村田 (横徵水第五八四七七號) 渡邊 (横志機第三三二〇九號)

小里 (横志機第五三八七二號) 本林 (横徵機第三五二三七號)

計六名

(吳 鎮)

吉川 (吳志水第二七三〇〇號) 戸次 (吳徵機第三一〇號)

大家 (吳徵機第三五八〇號) 加田 (吳徵機第三六四七號)

今川 (吳徵機第一五六六二號) 園田 (吳志水第五六〇二一號)

計五名

海軍 (一)

第十卷

(舞 領)

- 織田 (舞志水第二二〇九八號)
- 國兼 (舞志水第一三一三二號)
- 庄司 (舞志水第一三一五五號)
- 宮本 (舞志水第一二四六四號)
- 橋場 (舞志機第八一六二號)
- 旭 (舞志水第一一〇三八號)

計六名。

(東 通 駐 吳 領 計 五 名 ハ 譯 誤 ナ シ)

(電 信 譯 註 本 電 二 分 ノ 一 既 配 布)

第十信譯

海 軍

531

七八
受信
始信
〇〇二二五
〇四三五
譯了
〇七三〇
電〇三七二一
臨本作
航本作
施本
C

親至
展急

◎木更津航空基地

◎聯合艦隊P・各鎮各警(除海南警)P・名古屋、百里原各空基地

機密第〇七二二五六番電

發 三 A F 參謀長

貴機密第〇六一三四二番電關聯

燃彈ノ手配並ニ施設ノ關係上彗星一箇飛行隊(約四十機)ハ明治

基地ニ配備ノコトトヒラレ度

尙名古屋航空隊ニハ一〇 A F 艦爆約六〇機配屬ヒラルル豫定。

通四二二〇 呂一Bケ十三(三九八五KG)七FGB放

532

人

緊急

七八 受信 一七二三
始 一八三六

譯了 一九三一

電 〇〇四〇〇七
〇〇四〇〇八

臨作 C
航本 施本

無線艦所用共通符號

三、五各航空艦隊F・第十航空艦隊F

大海參一部

各艦各警F (除外二・高警F・海南警F)

機密第〇八一三四四番電 二分ノ二

發 G B 參謀長

通報軍務局・航本 施本

決號作戰航空兵力ノ展開ハ最近敵機ノ本土全域ニ及ブ執拗ナル偵察ト熾烈化セル空襲ト三鐘ミ特ニ基地整備實情ヲ考慮左ニ依リ之ヲ實施以テ企圖秘匿竝ニ被害局限ニ萬全ヲ期セラレ度

一既設基地ニアリテモ掩體其ノ他發着機施設ガ展開兵力ニ相應ヒザル場合ハ適宜展開兵力區分進出ヒシムルコト

通口五〇三・四五〇四 五二B分十三 (C) (D) 根・佐々木 (小川)

同一基地ニ二個以上ノ航空艦隊兵力展開ノ場合ハ制空兵力ヲ優先
トスル外爲シ得ル限り五AF三AF一〇AFノ順ニ展開スル如ク
相互間協同ノコト
二新設秘密基地ニアリテハ秘匿施設ノ整備ヲ俟テ進出セシメルコト
三新設及既設基地共ニ基地秘匿施設ノ整備ヲ極力促進スルト共ニ偽
裝迷彩等ノ完璧ヲ期スルコト
四右各項ニ依ル所定ノ期日迄ニ展開未了ノモノハ完了豫定期日兵力
ヲ基地別ニ報告ノコト。

533

人

七八 受信二〇八二〇六

了二一一〇 電〇四〇一四

臨作本

無線艦所用共通符號

作

海軍總隊

機密第〇八一五四七番電

發 五A 參謀長

通報 G P 參謀長

貴機密第〇七一〇四五番電返

一 穴道湖ハ水偵ヲ伏勢セシムル爲飛行機基地トシテ使用スルキハ作

戰上不利ナルニ付七尾基地ヲ使用サレ

二 東海方面哨戒實施上通信中繼基地ノ使用ヲ要スルコトアリ

三 隱岐ハ避退基地トシテハ位置適當ナルベキモ補給通信上不適ト思考

セラル再考アリ度

通四五四一 呂一Bケ十三(一〇二六五) 五A 放

577

人

七
九

受信
始一〇一〇〇三

丁一〇五〇 電〇四二九一

官房・一令
軍務・人謀
南政

第十部課

親展

東京通二一

十通

機密第〇八三一

通									
A									
B									
C									
D									
E									
F									

發 二五根司令官

宛 南方政務部長 人專局長 二五P參謀長

通報 「〇五P參謀長」

七月五日附七機(アル、ケイ、タニンバル殘留約四五〇名ヲ除ク)西
方部隊ニ編入セラレタルニ付「〇四建」ト「アール」支部及同支部長解
消方取計ハレ度。

通四七三五 呂一〇ラ十八(六二二二、五三)廿一通 海軍

人事

七
九

受信開始
〇〇六二
一五七

緊急起飛機

局長							
一課長							
A							
B							
C							
D							
E							
F							
G							
H							
I							
J							
K							
L							
M							
N							
O							
P							
隊							

本
・
施作
本C

海軍 艦隊 戸

三航空艦隊 戸・鹿島、第二河和各空

機密第〇八二二一五番電

宛 GB 参謀長

GB 電令作第 一〇五號ノ二ノ(イ)項ヲ第十三航空艦隊機密第〇三二二一
三五番電通り大浦不良ノ爲今宿ニ改メラレ長。

通口七六九 呂一三 (三九八五五) 七

536

作

親 緊 急

七九 受信〇四五八 了解一一二〇 電〇四八一九 作概〇
航本

● 七三航戦▷

● 海軍艦隊七・五航空艦隊四・五三空基地

機密第〇九〇〇二九番電 三分ノ二

● 大村空基地

而シテ沖繩ノ敵機動來襲國ノ當方面來襲ハ前日ノ專ナルヲ以テ先
般被爆ノ戰訓ニモ鑑ミ當隊ハ全力見敵必戦ノ方針ヲ採リアリ此ノ
場合資材人員並ニ燃料ノ消耗ハ相當額ニ昇リ敵機動部隊出現或ハ
次期作戦開始時期當隊兵力及大村基地燃料ハ豫想外ニ少ナカルベ

幸付豫メ御了承ヲ乞フ

通信課 本電三分ノ一二既電布
通八一二 呂一Aケ十三(六七〇) 佐二放

637

第一編

局員

13

09

三

第十部

七
三
九

開始一一五八

一三三二 一四七七一 人事

至

車

應 展 航 空 基 地

第二三聯合航空隊

後番第〇九〇七五七番

九州航空隊司令官

苑 人事局長

七〇九〇一〇
柳參謀上等の最現ス

平塚 (二四八一) 橋本 (三九七九) 八何レモ鎮山海軍砲術學

校陸軍講習終了者ニシテ夫々第一二聯合航空隊ヲ以續成ノ陸戰隊

大隊長及中隊長トシテ當處展地ニ展開濟ニシテ他ニ陸戰教育ヲ

受テタル主要幹部皆無當隊トシテハ兩人ノ他部隊轉出ハ戰備上支

障大ナルニ付當隊殘留ノコトニ細取計ヲ得度

一重編註 本軍再發要致ノ爲編延

通四八九四 頁一頁 一〇二六五四

海軍

至急
親展

七一九 受信二二三七
一〇〇 開始二二三〇

譯丁〇一一五 電〇四五六三 人專

共符

東京通信隊

海軍總隊口 三航空艦隊F 七二二空

機密第〇九二〇二番

發 中 日 參謀長

宛 人事局長

七二二空 海軍大尉林 富士夫 (五三〇九) 及上等飛行兵曹大久保

理藏櫻花二二型實驗終了迄七二二空二一時轉勤セシメテレ度

12/7 除務局長

除務局長	課長	A	L					
		B	K					
		E	I					
		J	C					
		G	H					
		F	D					永持

通五二一六 月一日夕十三 (七八七五KG) 一K P O B 放

海

軍

電十部課

500

七一〇

受信〇〇八二〇三五

譯了〇八四〇 電〇四七一九 人事

親展

東

通

第一〇方面艦隊F

機密第〇九

發 參謀長
苑 人事局長

七月十五日發令方御取計相成度

軍醫中尉内田正(夕二九一五)愛天丸乗組

尙同船ニハ主計科士官配員セザルコトトシ且同船行動任務ノ特殊事

情ニ鑑ミ指揮官附トシテ大尉九原正彦(ヨコ七七五)ヲ是非共配員

アリ度

10/7
チ 船長 九原正彦

通五三四一 呂二?々十三 (六二三五KG) 一〇通海軍

第十信課

人

501

七二八

開始二三〇〇〇〇

二三四〇

一四六三〇

人事

新展

●

一

一

根

△

● 一南遣艦隊

● 人事局長

暗號

機密第〇九二〇五八番電

津崎(夕二九九八)肺浸潤ニ依リ第二水川丸ニテ内地ニ送還ス後任

者至急配員方取計ハレ度

通一六六四七 呂一カケ十三(一七五九〇KG)十通海軍

山田(土谷)

①

第十信課

502

局長	一課長						
A							
B							
E							
J							
G							
F							

七一〇
 一七六二〇
 丁一九一〇
 〇〇四九三〇
 八人

機密第一〇一二三七番電 二分ノ二

海軍潜水學校長 吳潜水艦隊司令官

海軍省人事局長

海軍特務部長 吳美彦

七月五日附内野八六四ノ第九潜水隊司令部ニ轉出アリ後一時缺員ノ都合ニ關シ内野ノ轉出ハ現状ニ鑑ミ海軍水雷學校技務部研究及吳潜水艦隊事務進行上支障大ニシテ當分轉出困難ニ付内野ヲ現配置ニ残留方特ニ取計ヲ得度

右交代トシテ大谷(九八五)ノ轉出ハ當校トシテ差支ヘナシハ容類

海軍省人事局長

海軍

603

七
一一〇
親至
展急

受信
〇四九
〇一四

譯了
〇四四〇
電
〇五一二〇

人事
艦政

電信課
第十課

東

通

共

符

機密第一〇一五〇五番電

發
高警參謀長

苑
人事局長

通報
艦本總務部長
航本總務部長

高雄工作部長六十一空廠長兼務トナリ主トシテ台北ニ在リテ兩工作
廳ヲ統轄スルノ要アルニ付高雄本工場ニ於テ部長ニ代リ廳務ヲ處理
セシムル爲山本(ソ一二六)ヲ高雄工作部部長兼艦本造船造兵監督官
ニ轉勤方取計ヲ得度本件台北監督長了解済

通五七一九 呂二日夕十三(九四一〇E0) 高通

海軍

七 一 一 受信二〇二〇 譯了十二日〇八四五 電〇六一〇四 作 概 〇

至 親 展 扱

海 南 警 備 隊

東 通・支那方面艦隊

第二遣支艦隊、一〇二〇四九番電

機密第一〇二〇四九番電 三分ノ一

發 海南警備府參謀長

宛 參謀長 大本營海軍參謀部第一部長

通報 第二遣支艦隊參謀長

本府機密第〇六二一一四番電關聯

一、七月九日第一三航空艦隊零戰型水上機（無武裝）二隊四機〇七三〇

リ〇八〇〇迄偵察ヲ實施セル結果左ノ通

（破壊セル航空基地（三箇所）ハ其ノ儘ニシテ何等復舊ノ見込ナシ

通六三七九 呂三Bラ十八（七四六五K）上陸

南灣ニ約五〇一發動機船一隻島周ニ大型弋克丸隻碇泊シアリ平常所
在セズ

嶺頭角附近ニ防空壕ラシキモノ構築セル兵員七名ヲ認ム

其ノ他兵力土民部落ニ何等ノ變化ヲ認メズ

對空砲火ナシ

（電信課註 本電三分ノ三既配布）

545

親 座
急 展

七 一一 受信一七二三 譯了二一〇三 電〇五六四七 作機〇
開始一九〇五

東 進 支那方面艦隊口

海 南 警 口

一 時根 二 遺支艦隊口 三 航空艦隊口

機密第一〇二〇四九番電 三分ノ二

發 海南警備府參謀長

三 其ノ後判明セル情況ニ基ク敵情判斷左ノ如シ

(1) 現在ノ同島航空基地ヲ利用セントスル企圖ハ認めラレヌ

(2) 現存敵兵力ハ不明ナルモ同島ノ物資不足ノ現狀ヨリ見ルモ約二〇

・ 〇 以内ニシテ裝備優秀ナルモノトハ認めラレヌ

筒敵ハ重砲車ヲ主隊トセルモノノ如シ

通六三一 占二七 (一四九三〇機) 上陸 厚木 (六二頁)

○ 函館ハ北海方面ニ退避シタルモノノ如ク發動後船ヲ引クヲ以テ
 補給ヲ實施中ノモノナリ
 三 今後ノ處置

(H) 函館ハ臺灣雷州沿岸海南海峽[瓊]洲島周遊ヲ日施哨戒シアリ最近ハ
 式克ニ至ル迄監視サルル實情ナルヲ以テ我方臺灣ノ行動ハ極メ
 寧因難ナリ夜間監視上陸掃蕩スルハ容易ナルベキモ本府所屬艦ハ
 低速七ノット以下ニシテ引續時敵艦ニ監視サルル算大ナリ。

【電信誌註 本誌三分ノ一ニ未定】

546

親
至
一
一

受領一五三〇〇
一五二〇
〇五三七三
人事

東
一
一

一〇八五三番

人
一
一

人
一
一

一〇八五三番

一〇八五三番

一〇八五三番

安川
一
一

第十課

ヲ潛伏セシメ敵艦ノ通報ニ任ビシムニ在リ
密潛伏シ敵艦ノ通報ニ任ビシムニ在リ

三 配備地點及配備完了期日

安島、母島、八丈島、新島、根室大島、種子島、奄美大島、
五島、對馬、壹岐、濟州島、宮古島、石垣島、西表島、舟山島各
一隊中前支沿岸要地其ノ他各司令長官所定ノ右ノ外母島舟山島奄
美大島ニハ中央ニテ編成セラル有方ナル見張ヲ潛入セシム、完了
期日七月末、但横濱管下及五島對馬壹岐濟州島ハ八月末

三 編成要領

(イ) 中少尉、鐵橋士官ヲ含ム、ヲ長トシ艦長員見張員各二

(ロ) 整備、歩哨務ヲテ艦整備トス、手動發電機機附中波艇便附機各

一、參籠五糧食約六ヶ月分

(ハ) 隊員ハ擔任備置又ハ艦隊ニテ編成教育但シ派遣潛入困難ナル地

第十課

海軍

既ニ對スルモノハ現所在兵力中ヨリ之ヲ選定潛伏セシムルモノトス

同派遣潛入要領

(イ)設置選定箇所ハ派遣潛入ハ敵警又ハ隠隊所屬トス

(ロ)隊員ハ住民ト同様ノ服装ヲナシ又現地部隊トハ表面的ノ交通連絡ヲ斷ツ等凡有ノ手段ヲ盡シテ内外ニ對シ我企圖ヲ秘匿飽ク迄隠密潛伏ニ徹スルモノトス

五通信

(イ)受信所擔任員警又ハ隠隊所定

(ロ)使用暗號ハ適而指示スベキモ蓋當リ通信暗號警至第一節

六本機關ヲ竹機關ト呼稱ス本機關ニ依ル報告ハ左例ニ依ル冒頭ヲ冠スルモノトス

「鹽子島竹報告」

第百一十一號

海軍

548

七一三

受信開始 〇〇三四〇九

譯了 〇五三〇 電 〇六一八二

教育事

親至 急展

東京通信隊

吳通

機密第一二一四一〇番電

發 城 中佐

宛 教育局第一課長

通報 人事局第一課長

防府通信學校 海軍兵學校 防府本校主要職員ノ命課ハ學校整備ノ爲
都合上電報ニテ至急發令ノコトニ取計ハレ度

十五日 發令

通七一九三 呂一Bケ十三(B) 阪通

飛田(森田) 海軍

電信課 第十課

509

七 一 三
受信一七四〇二
譯了一八二〇
電〇六五九一

元山航空基地
東通・第二郡山

機密第一三
局長一〇〇〇
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

航人教
本署育

第十信課

宛 第十航空艦隊參謀
元山空司令

通報 航空本部教育部長 人事局長 第二郡山航空隊司令

元山空機密第〇六一三〇一番電返

一(イ)項該當者七月十五日附修業

二(イ)項該當者後令ス

三(イ)項該當者第二郡山航空隊ニ配屬ヲ變更申型練習機特攻員トス

四(イ)項該當者取扱ヲ現狀ノ儘トシ一〇△ヲ命令第三九號ニ準ジ戰備

通七四五一 呂一B夕十三(話)受(電)空

海 軍

其ノ他ノ作業ニ従事セシム 三項ノ搭乗員ハ元山 福岡間空中
輸送ノ上陸行ノコト

第十課

海
馬

550

親室 七
展急 一四

受信一八〇四
開始二一四五
譯了二二二三
電〇七〇八七
作 概〇

局長					
一課長					
A					
B					
E					
J					
G					
F					

支那方面艦隊中・佐領尸

隊 尸

機密第一四一一五二番電

發 參謀長

宛 大海參一部長 軍務局長

通報 第一〇二號掃海艦 (佐通氣付)

第一〇二號掃海艦ハ目下佐世保ニテ修理中ニシテ近ク完了豫定ナルト
コロ管艦隊トシテハ敵小艇艦艇襲撃等ニ任ゼシメラル豫定ナルモ内
地ニ於テ特ニ作戰上必要ナレバ役務變更セラレ差支ナキ内意ナリ。

通八二一
五二〇 (五五四五) 上

55

七

一四

受信一九三五
開始一九三五

譯丁二〇三一

電〇七〇八六

航作
本〇

現原

現急

◎

共

符

◎ 明治、名古屋各航空基地

◎ 木更津航空基地・横濱口

機密第一四一六三二番電

第二五二空司令

情報 参謀

攻撃第三飛行隊轉進決定ノ通

十五日一六機名古屋、十六日二〇機明治、十七日一二機明治（各日機未

一六〇〇茂原發）

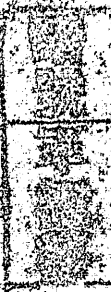
八六 呂一B (七) 七〇四 (七) 七〇四

552

第一号 支那ノ事情 第三十三号 支那ノ事情 第三十四号 支那ノ事情 第三十五号 支那ノ事情 第三十六号 支那ノ事情 第三十七号 支那ノ事情 第三十八号 支那ノ事情 第三十九号 支那ノ事情 第四十号 支那ノ事情

YOMIURI SHIMBUN

大正十一年七月十五日



支那事情 第三十三号 第三十四号 第三十五号 第三十六号 第三十七号 第三十八号 第三十九号 第四十号

支那事情 第三十三号 第三十四号 第三十五号 第三十六号 第三十七号 第三十八号 第三十九号 第四十号
支那事情 第三十三号 第三十四号 第三十五号 第三十六号 第三十七号 第三十八号 第三十九号 第四十号
支那事情 第三十三号 第三十四号 第三十五号 第三十六号 第三十七号 第三十八号 第三十九号 第四十号

支那事情 第三十三号 第三十四号 第三十五号 第三十六号 第三十七号 第三十八号 第三十九号 第四十号
支那事情 第三十三号 第三十四号 第三十五号 第三十六号 第三十七号 第三十八号 第三十九号 第四十号
支那事情 第三十三号 第三十四号 第三十五号 第三十六号 第三十七号 第三十八号 第三十九号 第四十号

支那事情 第三十三号 第三十四号 第三十五号 第三十六号 第三十七号 第三十八号 第三十九号 第四十号
支那事情 第三十三号 第三十四号 第三十五号 第三十六号 第三十七号 第三十八号 第三十九号 第四十号
支那事情 第三十三号 第三十四号 第三十五号 第三十六号 第三十七号 第三十八号 第三十九号 第四十号

第十卷

第拾卷

何處... 第二... 第八... 第三... 第五... 第六... 第七... 第八... 第九... 第十...

何處... 第二... 第八... 第三... 第五... 第六... 第七... 第八... 第九... 第十...

何處... 第二... 第八... 第三... 第五... 第六... 第七... 第八... 第九... 第十...

何處... 第二... 第八... 第三... 第五... 第六... 第七... 第八... 第九... 第十...

何處... 第二... 第八... 第三... 第五... 第六... 第七... 第八... 第九... 第十...

何處... 第二... 第八... 第三... 第五... 第六... 第七... 第八... 第九... 第十...

何處... 第二... 第八... 第三... 第五... 第六... 第七... 第八... 第九... 第十...

何處... 第二... 第八... 第三... 第五... 第六... 第七... 第八... 第九... 第十...

553

七
一
五

譯始一三四〇五

譯了一四二〇

電〇七三九五

人
事

親至
展急

東

高

通

警

F

機密第一五一〇三六番

發
參謀長

宛
人事局長

四月以降基隆出入港船舶ノ激減ニ依リ基隆武官府ノ任務ハ著シク輕減
減セラレタルニ付左ノ通發令方取計ヲ得度
山村（サ一二六五）高雄警備府附アト藤尾（九〇二）ノ兼務小島（
ヨキ一二二九）兼基隆武官府附。

通八五九三 呂一B（九四一〇KC）高雄

海
軍

第十信課

554



七二五 一五二〇 四一七〇〇 延〇六四二九

親展

● 陸軍部

● 陸軍部 陸軍部 陸軍部

陸軍部 一五一〇四四番

● 陸軍部

● 陸軍部 一五一〇四四番

一三陸軍部 以... 在... 上... 用... 是... 對... 又... 就... 是... 部... 有... 效

一四陸軍部 已... 二... 部... 和... 部... 隊... 一... 部... 二... 人... 部... 隊... 實... 施... 大... 二... 手... 部... 中... 各

一五陸軍部 日... 部... 隊... 特... 攻... 下... 別... 部... 二... 部... 隊... 成... 明... 瞭... 又... 部... 隊... 可... 下... 部... 隊... 入... 部... 三

一六陸軍部 日... 部... 隊... 特... 攻... 下... 別... 部... 二... 部... 隊... 成... 明... 瞭... 又... 部... 隊... 可... 下... 部... 隊... 入... 部... 三

一七陸軍部 日... 部... 隊... 特... 攻... 下... 別... 部... 二... 部... 隊... 成... 明... 瞭... 又... 部... 隊... 可... 下... 部... 隊... 入... 部... 三

海軍 陸軍 陸軍部 陸軍部 陸軍部

第十信課

作

親展扱急

七二五

受信 一三三七
始信 一五〇九

譯了 一五四一

電 〇七三九九

航臨 本作 C

十三航空戦隊

東京通信隊・木更津航空基地

鹿屋空基地

機密第一五一一一〇番電

發 五A 參謀長

通報 G B 三A 各參謀長

貴機密第一四一〇一〇番電關聯

第十三航空戦隊中練四〇機（都城配備豫定ノモノ）ハ鹿屋基地ニ展開

ノコトニ手配中ニ付準備サレ度

鹿屋基地展開豫定ノ内五〇機ノ配備基地ヲ徳生臺（大分縣）ニ變更
セララル豫定。

八六二七

呂一Bケ十三（七八七）
一五五GB放

657

本
一七
受領 二九四五
員 二二三〇〇 員 〇八七九一人 事

編
展
十 方 面 監 隊 員

● 第二南遣艦隊員 二五陸員

● 人 事

機務 第一 一〇二番艦

中佐 山下 宗 久 (一六二四) サ 第二五根 機務 隊長 首席 參謀 兼
ヲ 代行 セシム 川崎 (一〇〇六) サ 至 急 赴 任 セシム

局長	一	部	長	司
				司
				司
				司
				司
				司
				司
				司
				司
				司

通 一〇一三八 員 一〇二番艦 海 軍

第十信 照

559



七二〇

受信一五四一五〇

譯了一五二五 電一〇二八七

人情特〇

在瑞典武官(アトツホルム)

次次長官

機密第三九一番電 一八一四四〇

米第七軍ニ依リ抑留セラレタル大島大使小松、小島兩武官外三〇名ノ
帝國外交官ハ七月十一日米船 *AMBROSE* ニテ歸還米兵七六〇〇名ト共
ニ「ニューヨーク」ニ到着セリ。

通一七二二モロ

560

七 一八 受信 二〇五九 譯了 一三三五 電自 〇九五五二 至 〇九五五四 航作 本概 〇 20.7.21

緊急 分室



機密第一八一五一七番電 三分ノ一三三

發 第三航空艦隊參謀長

水偵隊ヲ以テスル上陸用舟艇夜間銃爆撃編成ノ件第三航空艦隊關係

ハ左ノ通實施ノコトニ取計ハレ度

一 鹿島航空隊二式水戰搭乗員六名（A B組）ヲ戰闘第九〇一飛行隊

ニ轉勤零夜戰隊ニ練成

通 一〇六五〇・一〇七二三

呂一Bケ十三（三九八五K）七FG放

福島・大石・相澤（小川）

二 第二河和空強風隊ヨリ一五組鹿島空零觀隊ヨリ一〇組ヲ選出強風隊
 編成 鹿島空零觀隊又ハ九五式水偵隊ヨリ六組ヲ選出二式水戰隊
 編成(計三一組)燃料約六〇ノ特配ヲ要ス
 三 器材ハ第二河和空強風全機(約三〇)及鹿島空二式水戰全機(六)
 ヲ充當ス
 四 練成基地ヲ第二河和航空隊トス
 五 人員要望

河和基地指揮官(中少佐通信出身者)一 飛行長級一 整備分隊長
 一 同分隊長(中尉級)二 整備員有章一〇〇 無章一〇〇
 六右以外ハ十二航空戰隊其他ノモノノ練成ハ別個ニ編成實施ノコ
 トニ取計ハレ度

西日名(22/7) 舟人 操

